久留米大学動物実験計画書

久留米大学長 殿

提出年月日	年 月	日 受付	付年月日	年	月 日		受付番号	클			
□ 新規 □ 変更 □]継続 前年度承	認番号:			組	l換え D	NA 承認	番号:			
研究課題 名											
	氏名			所属		職		連絡先		教育訓練受講の有無	
動物実験責任者名		印									
動物実験実施者名											
講座等所属長名			印								
実験実施期間	承認後 ~ 20()年 3			月	了等		20()年	月	日	
飼養保管場所 及び 実験の実施場所	飼養保管場所			<u> </u>	施場所						
	動物種	系 統	性別	匹 数	微生物学	的品質	入手先(導入		(関名)	備考	
使用動物											
医用 剃 彻											
研究目的(研究計画と方	法について、その概要	要を記入する	5.)								
実験方法(動物に加え		の根拠を具体	的に記入	し、「苦痛のカラ	Fゴリー や「i	動物の苦	痛軽減•	排除方法	: 等と整合	・性をもたせる) ₂₀)

		1. 感染実験 安全度分類: □ BSL1 □ BSL2 □ BSL3	,								
特殊実験区分 (該当項目をすべて■)		(使用微生物名とその量: 2. 遺伝子組換え動物使用実験 : □KO □Tg 区分: □ P1A □ P2A □ P3A)								
		, " " "									
		5. 特定外来生物使用実験									
動物実験の種類		1. 試験・研究 動物実験を □ 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった 2. 教育・訓練 必要とする理由 □ 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。									
(選択項目を■) 		2. 扱門 助版									
使用材料の毒性(ヒト および環境への影響と対 策を明記すること。)											
想定される		B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。									
苦痛のカテゴリー											
(選択項目を■)		□ D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 □ E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。									
動物の苦痛軽減、		2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。									
排除の方法 (該当項目をすべて■)		(具体が巣剤化及びその投与量・経路を記入:)								
(政当·民日乞) · (国)		□ 4. 動物が耐え難い痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。									
		5. その他(具体的に記入:)								
		1. 麻酔薬等の使用(具体・薬剤名及びその投与量・経路を記入:)								
安楽死の方法		2. 炭酸ガス									
(該当項目をすべて■)		3. 中枢破壊(具体的に記入: 法) 4. 安楽死させない(その理論を記入:	,								
 動物死体の処理方法		1. 動物実験センター内にて保管後、外部委託にて焼却									
(選択項目を■)		2. その他(具体的に記入:)								
	(過:	 よの動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入する	5。)								
その他必要または											
参考事項											
	1										
	審查	E終了: 20()年 月 日									
	修正意見等										
委員会記入欄											
	審查	E結果 □ 本実験計画は、久留米大学における動物実験規程等に適合する。 □ 本実験計画は、久留米大学における動物実験規程等に適合しない。									
	承認	S: 20()年 月 日									
	本領	本実験計画を承認します。									
学長承認欄		承認番号:第 - 号									
		久留米大学									
		学 長									